

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
 (仮称)松井山手湯元 水産

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010年  
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.2</b>
<b>Q1 室内環境</b>			0.40					<b>3.0</b>
<b>1 音環境</b>		2.6	0.23	-	-			2.6
<b>1.1 騒音</b>		3.0	0.40	-	-			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	-			
2 設備騒音対策		-	-	-	-			
<b>1.2 遮音</b>		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	-	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0	-			
<b>1.3 吸音</b>		1.0	0.20	3.0	-			
<b>2 温熱環境</b>		3.1	0.44	-	-			3.1
<b>2.1 室温制御</b>		4.0	0.50	-	-			
1 室温	冬期24℃、夏期24℃と室温実現可能な設備容量を確保した。	5.0	0.50	4.0	-			
2 負荷変動 追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.17	3.0	-			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.33	-	-			
5 蓄熱・蓄熱制御		-	-	-	-			
6 温度制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
<b>2.2 湿度制御</b>		1.0	0.20	3.0	-			
<b>2.3 空調方式</b>		3.0	0.30	3.0	-			
<b>3 光・視環境</b>		-	-	-	-			-
<b>3.1 昼光利用</b>		-	-	-	-			
1 昼光率		3.0	-	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	-	3.0	-			
<b>3.2 グレア対策</b>		-	-	-	-			
1 照度器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		3.0	-	3.0	-			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
<b>3.3 照度</b>		3.0	-	3.0	-			
<b>3.4 照明制御</b>		3.0	-	3.0	-			
<b>4 空気質環境</b>		3.2	0.33	-	-			3.2
<b>4.1 発生源対策</b>		4.0	0.50	-	-			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆をほぼ全面的に採用した。	4.0	1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 タンク・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
<b>4.2 換気</b>		2.0	0.30	-	-			
1 換気量		3.0	0.50	4.0	-			
2 自然換気性能		3.0	-	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮		1.0	0.50	3.0	-			
4 結露対策		-	-	-	-			
<b>4.3 運用管理</b>		3.0	0.20	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		1.0	0.50	-	-			
2 喫煙の制御	喫煙室・喫煙席を設け、負圧とし、他所に煙が流出しないようにし	5.0	0.50	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	0.30	-	-			<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>		3.9	0.40	-	-			3.9
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>		3.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
<b>1.2 心理性・快適性</b>		5.0	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		3.0	-	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画	落ち着いた和風をイメージさせる空間とした。	5.0	1.00	-	-			
<b>1.3 維持管理</b>		4.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	メンテナンスのよい材料を選定した。	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	十分なサービススペースを確保した。	4.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		3.1	0.31	-	-			3.1
<b>2.1 耐震・免震</b>		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>		3.1	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	主要な用途の配管をCとした。	4.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23	-	-			

**CASBEE-新築(簡易版)2010年版**  
 (仮称)松井山手湯元 水巻 新築工事

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.6)

**ライフサイクルCO<sub>2</sub>計算シート(標準計算用)**

1. 建設に係るCO <sub>2</sub> 排出量	延床面積比率	kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>			評価対象		kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>		参照値	
		レベル3	レベル4	レベル5	採点結果	CO <sub>2</sub> 排出量	採点結果	CO <sub>2</sub> 排出量	採点結果	CO <sub>2</sub> 排出量
1-1. 評価結果のCO <sub>2</sub> 排出量への置き換え										
Q2/2.2.1 躯体材料の耐用年数										
事務所	0.00	13.61	13.61	13.61	3.0	13.61		3.0	13.61	
学校	0.00	10.24	10.24	10.24	3.0	10.24		3.0	10.24	
物販店	0.00	16.13	16.13	16.13	3.0	16.13		3.0	16.13	
飲食店	0.00	16.13	16.13	16.13	3.0	16.13		3.0	16.13	
集会所	1.00	10.96	10.96	10.96	3.0	10.96		3.0	10.96	
工場	0.00	18.18	18.18	18.18	3.0	18.18		3.0	18.18	
病院	0.00	10.39	10.39	10.39	3.0	10.39		3.0	10.39	
ホテル	0.00	10.92	10.92	10.92	3.0	10.92		3.0	10.92	
集合住宅	0.00	15.93	8.06	5.47	3.0	15.93		3.0	15.93	
評価対象の構造	S造									
LR2/2.2 既存建築躯体等の継続使用	0%							0%		
LR2/2.3 躯体材料におけるリサイクル材(高炉セメント)	0%							0%		
1-2. 合計の計算						10.96			10.96	
2. 修繕・更新・解体に係るCO <sub>2</sub> 排出量										
2-1. 評価結果のCO <sub>2</sub> 排出量への置き換え										
Q2/2.2.1 躯体材料の耐用年数										
事務所	0.00	20.23	20.23	20.23	3.0	20.23		3.0	20.23	
学校	0.00	16.68	16.68	16.68	3.0	16.68		3.0	16.68	
物販店	0.00	12.20	12.20	12.20	3.0	12.20		3.0	12.20	
飲食店	0.00	12.20	12.20	12.20	3.0	12.20		3.0	12.20	
集会所	1.00	17.39	17.39	17.39	3.0	17.39		3.0	17.39	
工場	0.00	13.62	13.62	13.62	3.0	13.62		3.0	13.62	
病院	0.00	20.24	20.24	20.24	3.0	20.24		3.0	20.24	
ホテル	0.00	18.11	18.11	18.11	3.0	18.11		3.0	18.11	
集合住宅	0.00	13.58	14.94	16.22	3.0	13.58		3.0	13.58	
2-2. 合計の計算						17.39			17.39	
3. 運用時のエネルギーに係るCO <sub>2</sub> 排出量										
3-1. 建築物の取組み(②)						kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>		kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>		
						81.14		参照値(①)	89.12	
3-2. 上記+上記以外のオンサイト手法(③)						81.14				
太陽光発電の発電量		kWh/年	排出係数	削減量						
		0	0.355	0.00		0.00				
4. ライフサイクルCO <sub>2</sub> の計算(標準計算)						kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>		kg-CO <sub>2</sub> /年m <sup>2</sup>		
建設						CO <sub>2</sub> 排出量		CO <sub>2</sub> 排出量		
						10.96		10.96		
修繕・更新・解体						17.39		17.39		
運用						81.14		89.12		
合計						109.48		117.46		